

ロンドン、2021年7月14日

メトインベスト社と脱炭素化に関する基本合意を結ぶ

- 新型電気炉 EAF Quantum とツインレードル炉の出鋼量はそれぞれ 120 トン

キエフで開催された第1回国際脱炭素フォーラム（International Decarbonisation Forum）において、鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、ライフサイクルサービスの国際的パイオニアであるプライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、国際的な鉄鋼業・鋳業の垂直統合型グループ企業であるメトインベスト社と基本合意を結びました。

この基本合意は、両社による持続可能性プロジェクトの実施にあたっての相互交流を効率化する意志とお互いへの期待を確認しています。プロジェクトには、鉄鋼業界が関係する気候変動や環境問題について、Horizon Europe*1 と Research Fund for Coal and Steel*2 のもとで行われる共同研究開発が含まれます。また、メトインベスト社の生産施設で複合的に適用できる既存のソリューションや、鉄鋼業・鋳業のサプライチェーン全般に展開してメトインベスト社の脱炭素化を加速させる、将来性のある技術やソリューションへの取組も含まれます。両社がともに関心を持っている分野は、エネルギー効率、革新的な DRI ベースの製鋼、二酸化炭素回収および利用、冶金ガス利用等です。

本件についてメトインベスト社 CEO である Yuriy Ryzhenkov 氏は、「カーボンニュートラルを目指すメトインベスト社が、確固たる実績と業界トップの技術を持つプライメタルズテクノロジーズ社と協力態勢を組むことは、当社の脱炭素化中間目標達成と、気候に影響がないレベルまでの温暖化ガス排出量削減に大いに貢献すると信じております。これは欧州グリーンディールの目指すところであり、パリ協定による世界気候変動対策として EU とウクライナが宣言している方針にも沿っています。」と述べています。

当社取締役の Norbert Petermaier は「当社は、メトインベスト社の設立当時から技術面でのパートナーシップを結んでおり、メトインベスト社の脱炭素化達成に力添えできることを誇らしく思っております。

当社は、数十年にわたりお客様第一主義の精神で革新的な技術を開発してきました。このようなパートナーシップが鉄鋼生産の未来を形作るのだと確信しております。」と述べています。

*1 Horizon Europe: 2021年～2027年の7年間に渡り実施されるEUの研究・イノベーションを支援、促進するためのプログラム

*2 Research Fund for Coal and Steel: 欧州委員会による石炭と鉄鋼の分野における研究とイノベーションプロジェクトを支援する基金

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下のURLよりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルライゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記URLより当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: <https://www.primetals.com/jp>